

第4章 歴史文化資産の活用のための枠組

1 歴史文化を物語るストーリー

(1) ストーリー設定の考え方

ここでは、長浜市の歴史文化資産を総合的に保存活用するための枠組みとして、多様で豊かな自然をより所としながら、歴史の中で今日まで継承されている文化財群中から、第2章1(5)で示した「長浜市の歴史文化の特性」に即して、長浜らしい個性を伸ばし得るものをストーリーとして設定した。いずれも地域づくりや観光振興の核として新たな価値を見出すことが可能で、かつ将来にわたって継承していくことが出来るストーリーである。

(2) ストーリー内の文化財設定方針

長浜市の歴史文化を物語るストーリーは、古代から近代へ連綿と続く長浜の歴史文化において、それぞれの時代の息吹を感じさせる史跡・名勝や建造物、伝統芸能等の「かたまり」を選んだ。ここで選定した歴史文化資産を核として、周辺地域を歴史文化空間とし、新たな価値を見出せるストーリーを、文化財の関連性や地域性を考慮して設定を行なった。あわせて、住民による保存活動が望まれる文化財群であるかも、ストーリー設定に際しては考慮した。

文化財の関連性を重視してストーリーを設定したのが重点《関連文化財群》、歴史的空間を重視してストーリーを設定したものが重点《歴史文化保存活用地域》である。

2 重点《関連文化財群》

(1) 重点《関連文化財群》の設定の考え方

重点《関連文化財群》とは、多種多様な文化財(指定・未指定を問わず)を歴史的、地理的関連性に基づき一定のまとまりとして捉えたものである。重点《関連文化財群》を設定するにあたっては、以下の点を基準とする。

- ア) 重点《関連文化財群》の構成要素となるそれぞれの文化財に歴史的、地理的な関連性があり、一連のストーリーの中で保存活用に結び付けることができること。
- イ) 重点《関連文化財群》を構成する文化財の中に現存する文化財を含むこと。
- ウ) 重点《関連文化財群》の核となる文化財は、これまでに十分な調査・研究がなされ、その歴史性や価値が評価されていること。

(2) 重点《関連文化財群》の設定

第2章1(5)で示した6つの長浜市の歴史文化の特性に基づき、市内に存在する多種多様な文化財をグループ化するためのジャンルを決め、個々の文化財だけでは理解しにくい新たな価値を発見するために、6つの重点《関連文化財群》を設定した。

ジャンル① 古代の王と古墳文化

ジャンル② 小谷城・姉川古戦場と浅井氏関連史跡

ジャンル③ 多彩なる伝統芸能・民俗行事

ジャンル④ 近世文化の輝き

ジャンル⑤ 街道が織り成す交流の文化

ジャンル⑥ 長浜の近代を創った遺産群

(3) 重点《関連文化財群》の内容

ジャンル① 古代の王と古墳文化

古墳時代までの古代の長浜は息長氏など多くの王が、地域ごとにその権勢を誇った。その王たちの力を今に伝えるのが古墳である。国指定史跡の古保利古墳群や、滋賀県指定史跡の茶臼山古墳・垣籠古墳を含む横山古墳群などは、古代長浜の政治状況や信仰のあり方を今に伝える魅力的な文化財である。

長浜市の北部に勢力を持っていた豪族として伊香氏が知られ、付近に分布する大規模な古墳群として古保利古墳群が挙げられる。古保利古墳群は、山本山を南限とする尾根上に132基の古墳(前方後円墳・前方後方墳・方墳・円墳)が築かれている古墳群である。群中には内行花文鏡などの舶載鏡が出土した小松古墳(前方後方墳)や全長35.5mの西野山古墳(前方後円墳)など様々な古墳が築かれている。また、琵琶湖からしか望むことができない深谷古墳などの存在より、湖上交通を掌握した王の墓であったと考えられる。

山本山の南には、前方後円墳である若宮山古墳が築かれ、高月町東柳野の平地には県内最大の前方後方墳である姫塚古墳が築かれる。大依山の尾根上には乗倉古墳が築かれ、形状は前方後円墳で付近には円墳10基が築かれる。

市内南部に勢力を持っていた豪族としては坂田氏が挙げられ、付近に分布する大規模な古墳群として横山古墳群が挙げられる。横山古墳群は、米原市と長浜市の市境に位置する横山丘陵に築かれた古墳群で、前方後円墳や前方後方墳からなっている。丘陵先端の龍ヶ鼻には市内最大の前方後円墳である茶臼山古墳(全長100m)が築かれる。また、市域の南部に位置する布勢町には出土遺物が長浜市指定文化財に指定されている布勢古墳が存在する。

このように、市内には各地に前方後円墳などの古墳が築かれており、平野や湖上を掌握した王の姿を今も知ることができる。

■ジャンル① 古代の王と古墳文化 主な構成文化財一覧

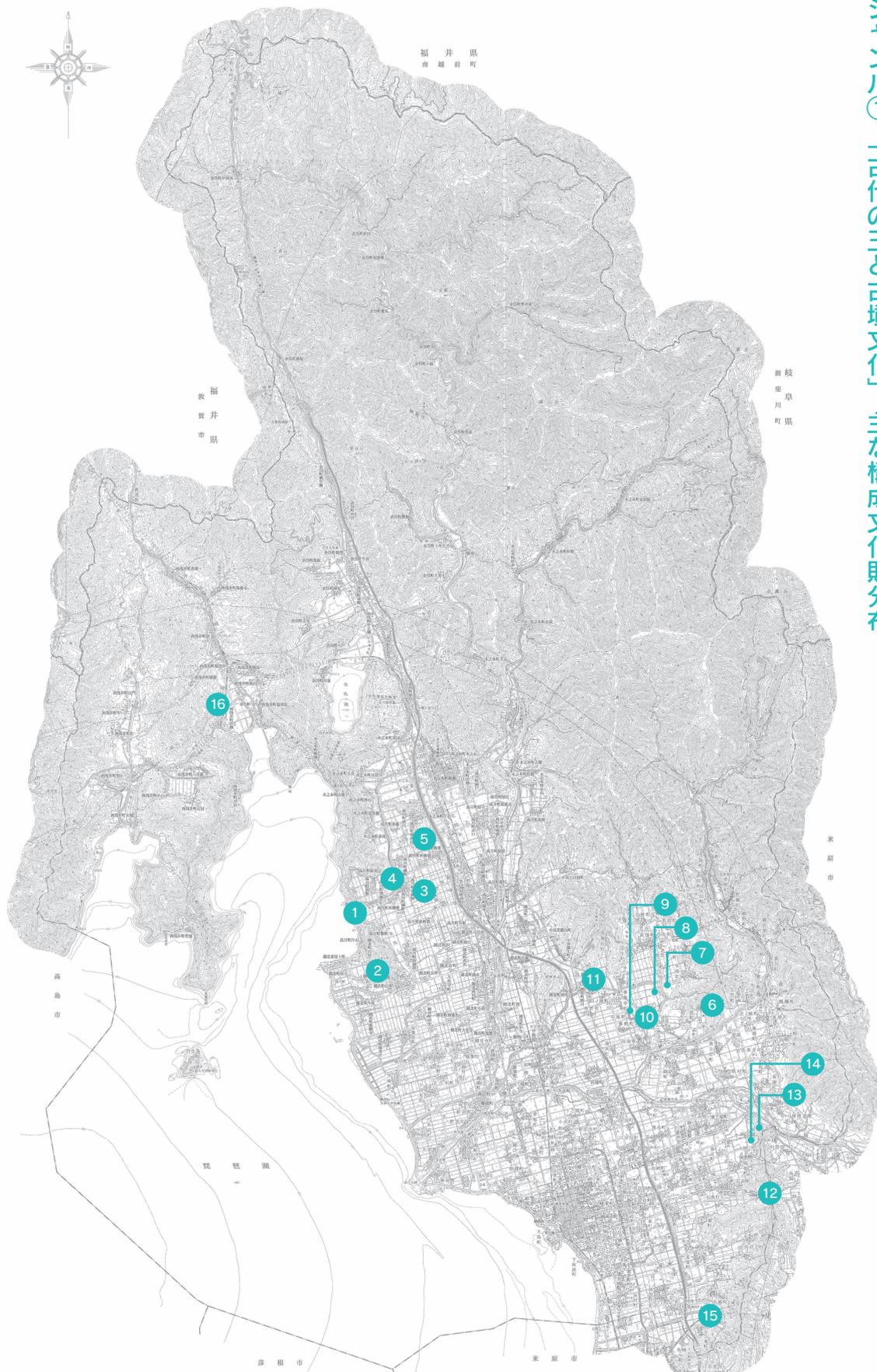
番号	文化財名	類型	指定	地域	所在地
1	古保利古墳群	史跡	国指定	高月	高月町西野ほか
2	若宮山古墳	史跡	県指定	朝日	湖北町山本
3	姫塚古墳	史跡	県指定	古保利	高月町東柳野
4	松尾宮山古墳群	史跡	県指定	古保利	高月町松尾
5	横山神社古墳	史跡	県指定	七郷	高月町横山
6	乗倉古墳	史跡	未指定	下草野	乗倉町
7	大人塚古墳	史跡	市指定	田根	木尾町
8	城山古墳群	史跡	市指定	田根	木尾町
9	岡の越古墳	史跡	市指定	湯田	八島町
10	亀塚古墳	史跡	市指定	湯田	八島町
11	雲雀山古墳群	史跡	市指定	湯田	山ノ前町
12	横山古墳群	史跡	未指定	北郷里	東上坂町ほか
13	茶臼山古墳	史跡	県指定	北郷里	東上坂町
14	垣籠古墳	史跡	県指定	北郷里	垣籠町
15	布勢古墳出土品	考古資料	市指定	西黒田	布勢町
16	塩津丸山古墳群	史跡	県指定	西浅井	西浅井町塩津浜

*地域は、連合自治会ごとに示した(以下、同)。



古保利古墳群

ジャンル① 「古代の王と古墳文化」 主な構成文化財分布



ジャンル② 小谷城・姉川古戦場と浅井氏関連史跡

長浜の地は、戦国大名浅井氏が統治を行なったので、関連する城郭・城館が多く伝存する。その居城である小谷城、重要な支城であった横山城・山本山城などはその遺構が良好に残っている。また、下坂氏館や三田村氏館など、家臣の城館跡が保存されていることも特徴だろう。姉川古戦場や、浅井氏を攻撃した織田信長の砦である虎御前山城を含めれば、本市は全国的に注目される戦国史の絵舞台と言えよう。

史跡小谷城跡の周辺には、浅井氏に関連した遺跡が多く残っている。元亀元年(1570)から天正元年(1573)にかけて、織田信長との戦いのなかで、小谷城をはじめ姉川など北近江は戦乱の場となった。

元亀争乱における主な戦場は小谷城で、そこは浅井氏の居城であった。小谷城は、浅井家の生活の場でもあり、城下町には家臣たちも住んでいたとされる屋敷跡なども確認ができる。山上には「本丸」・「広間」などの城郭主要部があり、麓の「清水谷」には当主屋敷や家臣屋敷があった。さらに、城下町の発掘調査の結果からは、浅井氏時代のものが多く出土している。

小谷城の支城としては、小谷城の西側にある北国脇往還を挟んだ岡山の山頂付近に丁野山城、その岡山の尾根続きには中島城がある。元亀3年(1572)に織田信長が、小谷城最奥の大嶽^{おおつく}を攻めた時、丁野山城には浅井氏の応援に来ていた越前朝倉氏軍の平泉寺玉泉坊が立て籠もっており、大嶽同様に織田軍に攻められている。

虎御前山城は、織田信長が浅井長政との戦いで陣を敷いており、羽柴秀吉、柴田勝家など信長の部将が布陣した城である。また、その西側に見える山本山城は、信長による小谷城攻撃の最終段階において、守備していた阿閉貞征が織田軍に寝返り、湖北における元亀争乱の終結をもたらした重要な城郭である。また、長政とその夫人・市の子である浅井三姉妹の城外脱出経路沿いにある浅井氏侍女の墓や、実宰院も史跡として注目できる。

元亀争乱の戦いは姉川周辺も舞台となるが、この合戦の端緒となった横山城がある。近くにある平地城館である上坂氏の居館が、姉川南岸にあった上坂城で、上坂氏は横山城にも籠城したと伝える。横山城遺跡の周辺には、龍ヶ鼻古墳群・茶臼山古墳などがあり、これらは元亀争乱時に陣城として利用され、織田軍の陣地となっていたと推定される。大依山は、姉川合戦の前に浅井・朝倉軍が陣を置いた場所であり、その南側にある平野部には、平地居館の三田村城館跡があり、姉川合戦の際には朝倉軍の陣となった。姉川合戦は、北岸の野村町・三田町に浅井・朝倉連合軍、南岸の東上坂町には織田・徳川連合軍が陣を敷いた。

浅井氏は湖北地方の各集落を領地としていた土豪たちを家臣として従えていた。その一人が、坂田郡下坂中村に居を構えた下坂氏であった。下坂氏の居館である下坂氏館跡の遺構は現在も良好に留められており、近江国を代表する城館遺構と言えよう。



小谷城 黒金御門跡

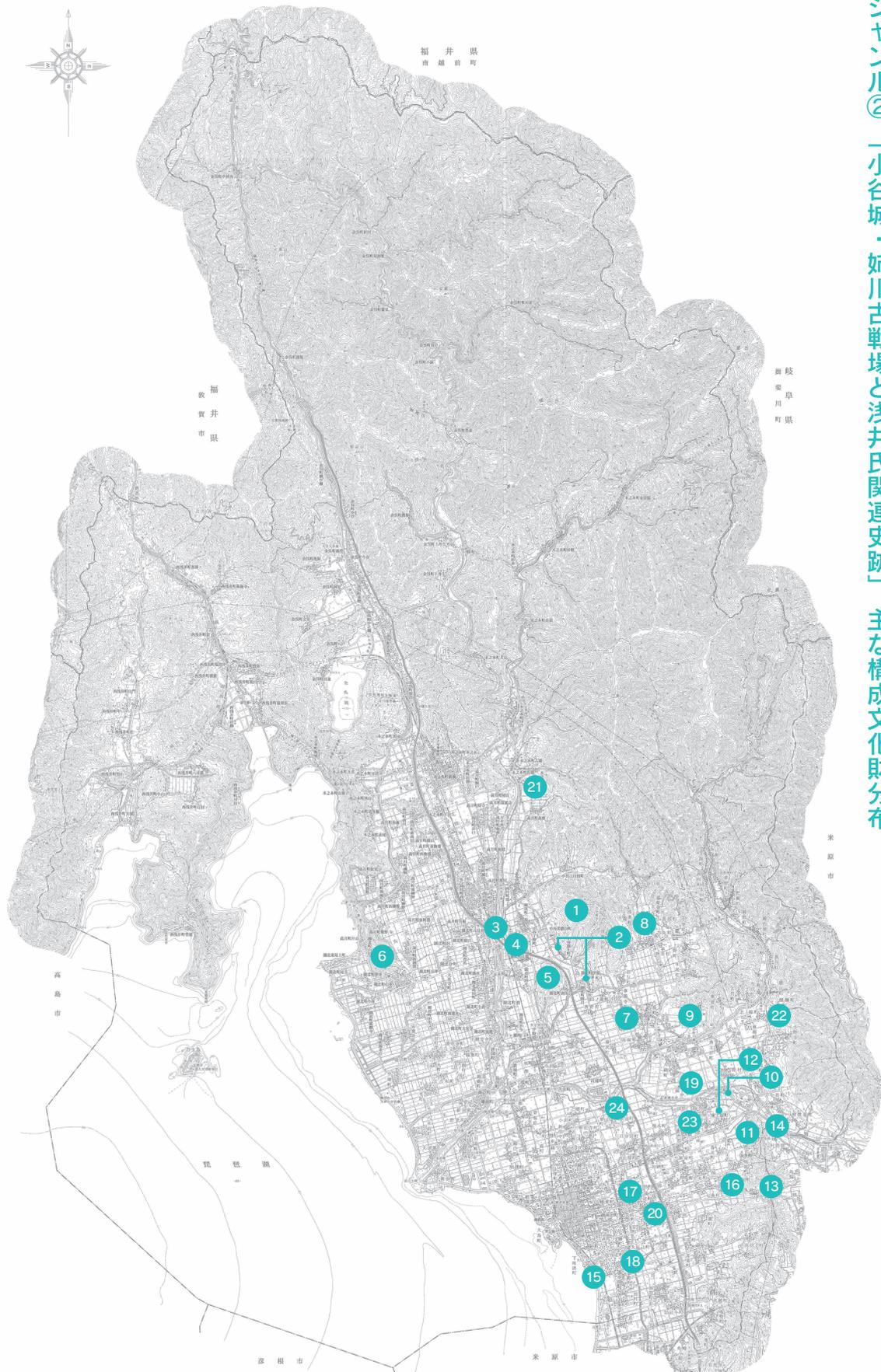
湖北地方の多くの平地城館が消滅した中で、下坂氏館跡のほかにも先述した三田村氏館跡、垣見氏館跡、小山館跡、東野館跡・上坂城跡などは浅井氏家臣団の屋敷を今に伝える北近江城館跡群として、貴重な遺構と言えよう。

浅井氏時代から鉄砲生産を行っていた国友村も、「鉄砲の里」として戦国史跡と言えるだろう。

■ジャンル② 小谷城・姉川古戦場と浅井氏関連史跡 主な構成文化財一覧

番号	文化財名	類型	指定	地域	所在地
1	小谷城跡	史跡	国指定	小谷	小谷郡上町など
2	伊部宿・郡上宿	史跡	未指定	小谷	湖北町伊部など
3	丁野山城	史跡	未指定	小谷	小谷丁野町
4	中島城	史跡	未指定	小谷	小谷丁野町
5	虎御前山城	史跡	市指定	虎姫	中野町
6	山本山城	史跡	未指定	朝日	湖北町山本
7	実宰院	名勝	市指定	湯田	平塚町
8	こじき坂・浅井氏侍女の墓	史跡	未指定	田根	北野町
9	大依山	史跡	未指定	湯田	大依町
10	姉川古戦場跡	史跡	市指定	七尾・湯田	野村町・三田町
11	遠藤直経の墓	史跡	未指定	北郷里	東上坂町
12	岡山(勝山)	史跡	未指定	北郷里	東上坂町
13	横山城	史跡	未指定	北郷里	石田町
14	龍ヶ鼻陣所	史跡	未指定	北郷里	東上坂町
15	さいかち浜古戦場	史跡	未指定	六荘	下坂浜町
16	石田三成出生地	史跡	未指定	北郷里	石田町
17	小堀遠州出生地(小堀氏館跡)	史跡	市指定	南郷里	小堀町
18	下坂氏館跡	史跡	国指定	六荘	下坂中町
19	三田村氏館跡	史跡	国指定	湯田	三田町
20	垣見氏館跡	史跡	市指定	南郷里	宮司町
21	小山館跡	史跡	未指定	高時	木之本町小山
22	東野館跡	史跡	未指定	下草野	東野町
23	上坂城跡	史跡	未指定	北郷里	西上坂町
24	国友鉄砲の里	史跡	未指定	神照	国友町

ジャンル② 「小谷城・姉川古戦場と浅井氏関連史跡」 主な構成文化財分布



ジャンル③ 多彩なる民俗芸能・民俗行事

長浜曳山祭は、ユネスコの無形文化遺産に登録されており、日本の山・鉦・屋台行事を代表する都市祭礼である。さらに、農村部には同じ曳山行事として上丹生の曳山茶碗祭があり、雨乞い踊りとして始まった太鼓踊りが広く分布する。この都市と農村の祭りが重層するなか、それぞれが地域共同体の核として機能することで、湖北地域の一体性が保たれてきた。

長浜市域を含めた湖北は、民俗芸能・行事の宝庫である。それらは古来地域の人びとの暮らしと深くかかわりながら展開してきた。

長浜曳山祭は、湖北の春を彩る最大の祭礼行事であり、曳山の巡行や子ども歌舞伎の上演などは、長浜町民文化の精華というにふさわしい。

湖北地域に伝えられている太鼓踊りは、祈雨の礼として踊られる返礼踊りである。中河内・川合・金居原・下余呉・八日市・当日の太鼓踊り、鍛冶屋の太閤踊りや集福寺のちゃんちゃこ踊りなど、県内で確認できる太鼓踊りのうち、およそ6割がこの湖北地域に分布している。毎年8月15日、長浜八幡宮の放生池で演じられている「蛇の舞」も、雨乞い習俗を背景としたもので、県下では例のない貴重な民俗芸能と言える。

富田町に伝承された富田人形は、県内唯一の人形浄瑠璃で、県選択無形民俗文化財となっており、上丹生で行なわれる春の曳山祭礼「上丹生の曳山茶碗祭」は、山車に人形と陶器が高く積み上げられていく所から「近江(湖国)の奇祭」と言われている。地域の伝統芸能や祭礼が、人びとによって大切に守られ、今に伝えられているのである。

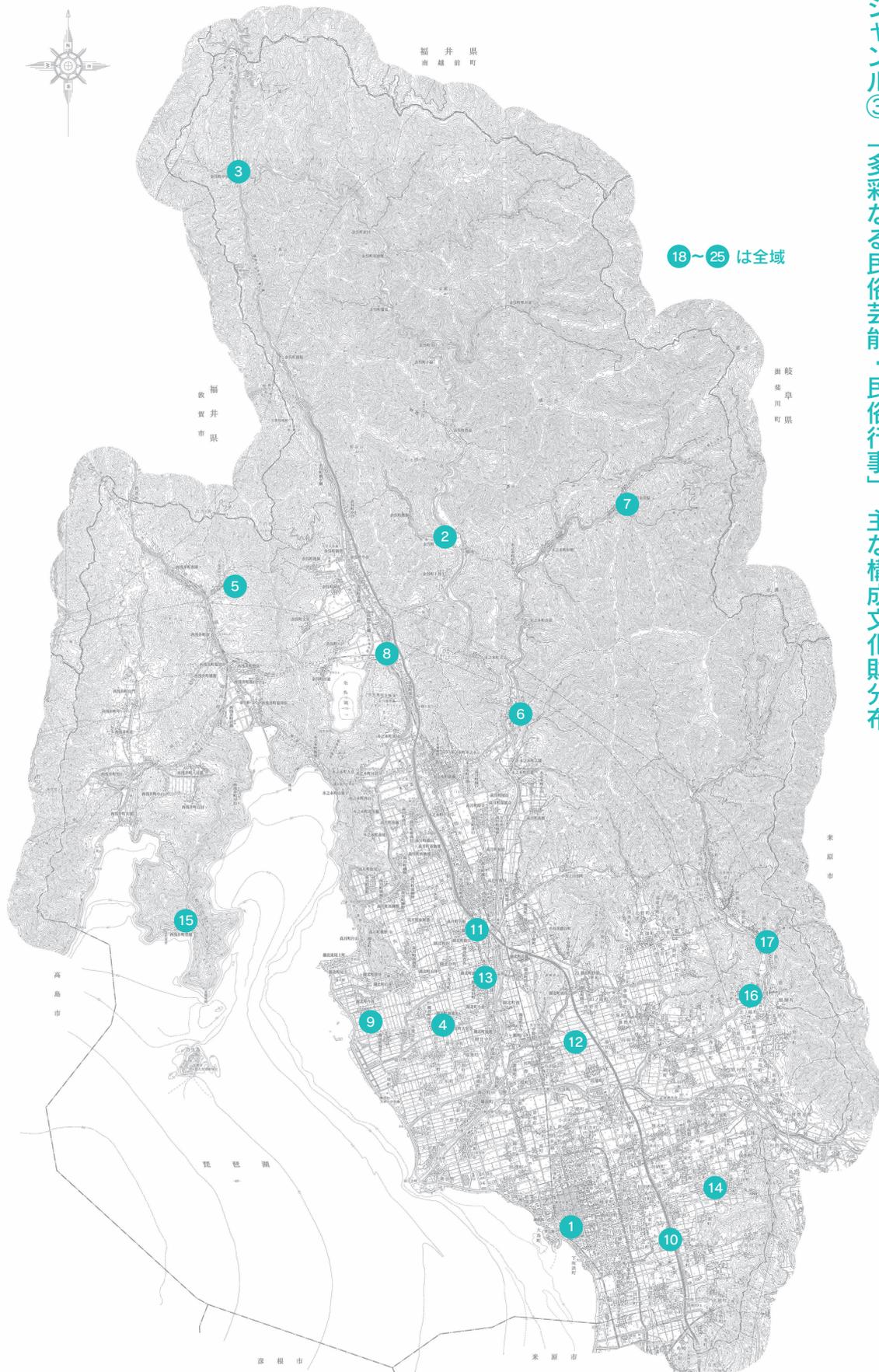
その他、湖北各地で行なわれているオコナイや春秋の祭礼(神輿渡御・燈明祭など)、村々における野神・巨木信仰や地藏信仰(地藏盆)なども、地域住民の信仰を表わすものとして重要である。大通寺の^{げちゅう}夏中法要や、各寺院で行なわれている報恩講や「回り仏」などを代表とする仏教行事なども、地域住民の生活と一体化したものであり、守るべき民俗行事と言えよう。その場に出される郷土食も、貴重な無形文化財であろう。



上丹生の曳山茶碗祭

■ジャンル③ 多彩なる民俗芸能・民俗行事 主な構成文化財一覧

番号	文化財名	類型	指定	地域	所在地
1	長浜曳山祭の曳山行事	無形民俗	国指定	旧長浜	元浜町など
2	上丹生の曳山茶碗祭	無形民俗	県指定	余呉	余呉町上丹生
3	中河内の太鼓踊 附奴振	無形民俗	県指定	余呉	余呉町中河内、休止
4	富田人形	無形民俗	県選択	びわ	富田町
5	集福寺ちゃんちゃこ踊 附奴振	無形民俗	県選択	西浅井	西浅井町集福寺
6	川合の太鼓踊り	無形民俗	県選択	高時	木之本町川合、休止
7	金居原の太鼓踊り	無形民俗	県選択	杉野	木之本町金居原
8	下余呉の太鼓踊り	無形民俗	県選択	余呉	余呉町下余呉
9	延勝寺の太鼓踊り	無形民俗	県選択	朝日	湖北町延勝寺、休止
10	永久寺の蛇の舞	無形民俗	県選択	六荘	永久寺町
11	八日市の太鼓踊	無形民俗	県選択	朝日	湖北町八日市
12	元三大師お水取り行事	無形民俗	市指定	虎姫	三川町、休止
13	速水伊豆神社八朔大祭幡母衣武者 行列・青物神輿	無形民俗	市指定	速水	湖北町速水
14	七条の春祭り	無形民俗	市指定	南郷里	七条町
15	須賀神社例祭(須賀の祭)	無形民俗	市指定	西浅井	西浅井町菅浦
16	当目の雨乞い太鼓踊り	無形民俗	未指定	下草野	当目町
17	鍛冶屋の太閤踊り	無形民俗	未指定	上草野	鍛冶屋町
18	オコナイ(年頭行事)	無形民俗	未指定	全域	
19	村の春祭・秋祭	無形民俗	未指定	全域	
20	野神・巨木信仰	無形民俗	未指定	全域	
21	地藏信仰(地藏盆)	無形民俗	未指定	全域	
22	焼鯖そうめん	無形民俗	未指定	旧長浜	
23	湖魚のなれずし (鮎鮓など)	無形民俗	県選択	全域	
24	オコナイにともなう郷土食	無形民俗	未指定	全域	
25	お講汁	無形民俗	未指定	全域	



ジャンル③ 「多彩なる民俗芸能・民俗行事」 主な構成文化財分布

ジャンル④ 近世文化の輝き

長浜は江戸時代に多くの文化人を輩出した。雨森芳洲は朝鮮通信使に随行し、当時の日本外交をリードした。国友一貫斎は、当時最高水準の科学技術力で、数々の発明考案品を世に送り出した。長浜曳山祭の曳山を創造した大工・藤岡和泉など、江戸時代の長浜の文化は、この他にも美術や文学の世界でも輝きを放っている。これらの人物の顕彰は、現在の市内各地域における地域づくりの素材として活用されるべきである。

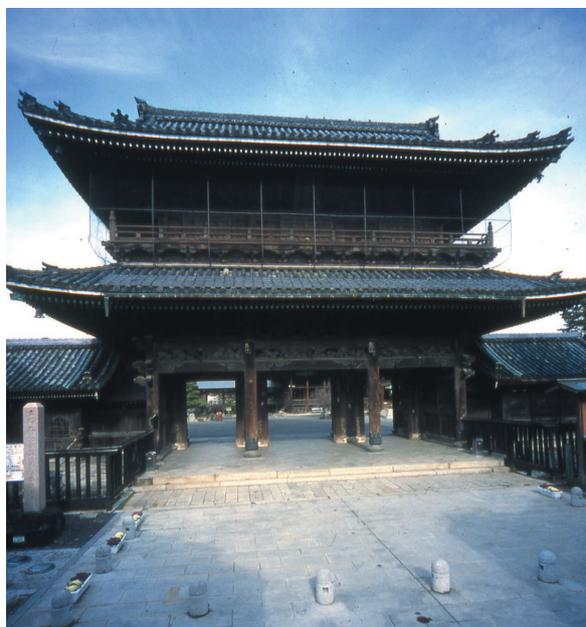
雨森村(長浜市高月町雨森)出身と伝える雨森芳洲(1668～1755)は、江戸時代中期、対馬藩(現・長崎県対馬市)に仕えた儒学者である。日本語のほか、朝鮮語・中国語も操り、異彩を放った。藩の教育面のほか、朝鮮外交などにあたった。朝鮮通信使来日の際にはその随行儒者として、正徳元年(1711)の第8次と、享保3年(1718)の第9次の通信使に同行し活躍した。

雨森芳洲関係資料は、芳洲の子孫に伝わったもので250件に及び、86件は国の重要文化財に指定されている。この雨森芳洲関係資料36点を含む、日韓両国にまたがる「朝鮮通信使に関する記録」333点は、平成29年10月にユネスコ「世界の記憶」に登録された。このうち雨森芳洲関係資料36点は、高月観音の里歴史民俗資料館に収蔵され、適宜展示されている。

長浜曳山祭は長濱八幡宮(長浜市宮前町)の春の例祭で、毎年4月15日を本日として開催される。四畳半舞台を備えた絢爛豪華な曳山の上で、可憐な子ども歌舞伎を演じることが最大の特色である。現在残る13基の曳山は18世紀半ばから19世紀前半に建造されたもので、その作者は長浜町の大工であった藤岡和泉であった。仏壇師として頭角を現した藤岡和泉家は、数代に渡って長浜の曳山を建造し、全国的に見ても独特な舞台付きの芸山の形状を完成させた。

この「藤岡山」とまで言える山が曳き出される長浜曳山祭は、行事が国指定重要無形民俗文化財、曳山と山蔵が滋賀県指定有形民俗文化財に指定され、平成28年11月には国内の他の32ヶ所の山車行事とともに「山・鉦・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録された。

大通寺は、東本願寺の連枝寺院で、湖北・長浜の真宗文化を象徴する寺院である。そこは、長浜町の人々が集う場所でもあった。重要文化財の本堂・広間をはじめ、「近世文化の輝き」を如実に示す襖絵群と、優美な名勝庭園で飾られる。特に、江戸中期の第5代住職横超院は、約50年にわたり住職を務め、書画を能くしたその芸術性は長浜の文化を引



大通寺山門

き上げた。

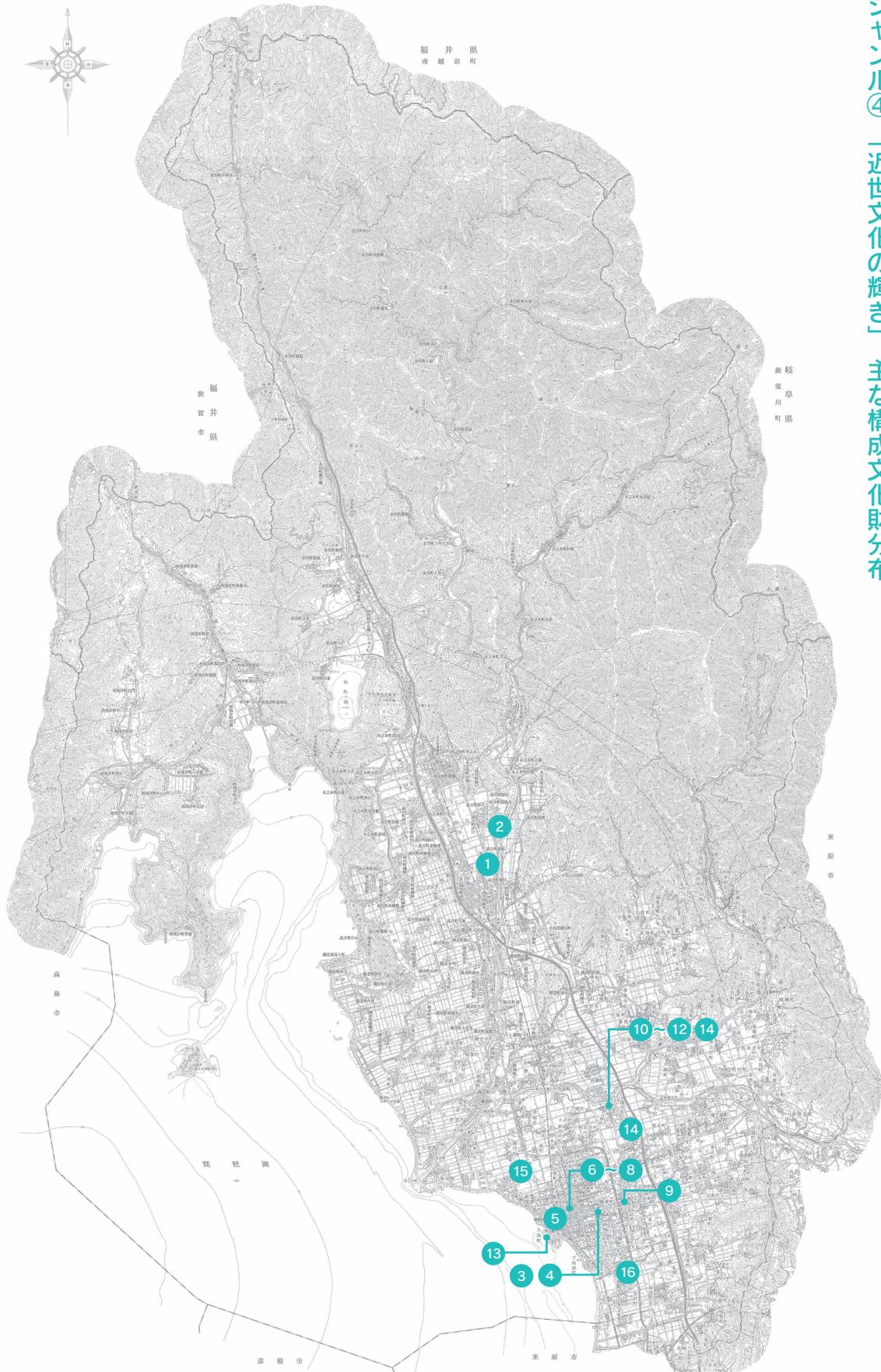
この他、芸術や文化の面でも多くの偉人が登場する。江戸幕府の官僚として、多くの城郭や庭園などを造営した小堀遠州に関する遺産。江戸後期の科学技術者として知られ、日本で初めて反射望遠鏡を製造した国友一貫斎に関わる遺産など、近世においてこの地域の芸術文化を主導した人々に関する遺産が市内には展開する。

さらに、養蚕製糸に関する著作がある成田思斎、幕末の勤皇の志士として著名な江馬天江・板倉槐堂・小野湖山に関する歴史文化資産も注目してよい。これらの人物や建造物は、長浜の近世文化の高度な発展を示して余りある。

■ジャンル④ 近世文化の輝き 主な構成文化財一覧

番号	文化財名	類型	指定	地域	所在地
1	雨森芳洲関係資料	歴史資料	国指定	富永	高月町雨森
2	雨森集落	史跡	未指定	富永	高月町雨森
3	長浜曳山祭の曳山行事	無形民俗	国指定	旧長浜	朝日・元浜町
4	長浜曳山祭の山車 附山蔵	有形民俗	県指定	旧長浜	朝日・元浜町
5	藤岡和泉家大工資料	歴史資料	未指定	旧長浜	元浜町
6	大通寺本堂・広間	建造物	国指定	旧長浜	元浜町
7	大通寺新御座など	建造物	市指定	旧長浜	元浜町
8	大通寺舎山軒など	名勝	国指定	旧長浜	元浜町
9	小堀遠州出生地	史跡	市指定	南郷里	小堀町
10	国友一貫斎顕彰碑	建造物	未指定	神照	国友町
11	国友一貫斎生家	建造物	未指定	神照	国友町
12	反射望遠鏡 一貫斎製作	歴史資料	市指定	神照	国友町
13	反射望遠鏡 一貫斎製作	歴史資料	市指定	神照	公園町
14	国友一貫斎文書	書跡	市指定	神照	国友町
15	成田思斎顕彰碑	建造物	未指定	神照	相撲町
16	下坂氏館 (江馬天江・板倉槐堂関係)	史跡	国指定	六荘	下坂中町

ジャンル④ 「近世文化の輝き」 主な構成文化財分布



ジャンル⑤ 街道が織り成す交流の文化

市内には長浜市街地を通り木之本宿から越前国に至る「北国街道」、関ヶ原から小谷城下町を通過し木之本宿で「北国街道」に合流する「北国脇往還」、さらに塩津から敦賀に至る「塩津街道」など、多くの街道が交錯した。そこには、地域によって異なる町家が建造され、特色ある商業の展開もみられた。長浜町や木之本宿を中心とする街道景観は、江戸から明治に至る歴史的空間を追体験できる場である。

市域には、「北国街道」をはじめ「北国脇往還」などの街道がはしり、近畿と北陸・東海を結ぶ交通の要衝としてさまざまな交流が行われ、地域の文化が育まれてきた。

なかでも「北国街道」は、北陸と近畿を結ぶ陸路として、古くから開けた街道で名称も経路も時代により変遷しているが、一般的には金沢城下から中山道鳥居本宿までの経路を指す。この「北国街道」の木之本宿には、本陣や問屋などが設けられ、宿場町として「長浜町」とは相違する景観が形成された。現在も江戸時代から昭和前期に至る伝統的町家が多く残り、歴史的な建造物が密集する空間として、文化財的価値はすこぶる高い。

また、「北国街道」の宿駅としての長浜は、代々吉川家が務めた本陣も存在したが、江戸時代を通じて「長浜宿」の名は使われなかった。しかし、幕末の動乱期には、京都の政治的重要性が増し、それとともなって北陸の大名や志士たちが京都・大坂へ頻繁に出入りするようになり、宿駅としても大いに栄えた。

この他にも、中山道から分岐した「北国街道」の米原宿から、宮川藩の藩庁があった宮川村（長浜市宮司町）や鉄砲の里・国友を通り、小谷城下の伊部宿にいたる「小谷道」。中山道の美濃国関ヶ原宿から春照宿、伊部宿を經由して木之本宿にいたる「北国脇往還」。長浜町から観音坂を經由し春照宿にいたる「長浜街道」。「北国街道」から分岐し、竹生島へ渡るため、早崎湊に行く「竹生島参詣道」。湖上交通の要・塩津湊から敦賀に抜ける「五里半越え」とも呼ばれた「塩津街道」など、中世から近代にいたるまで、多くの街道が湖北・長浜の地で交錯していた。

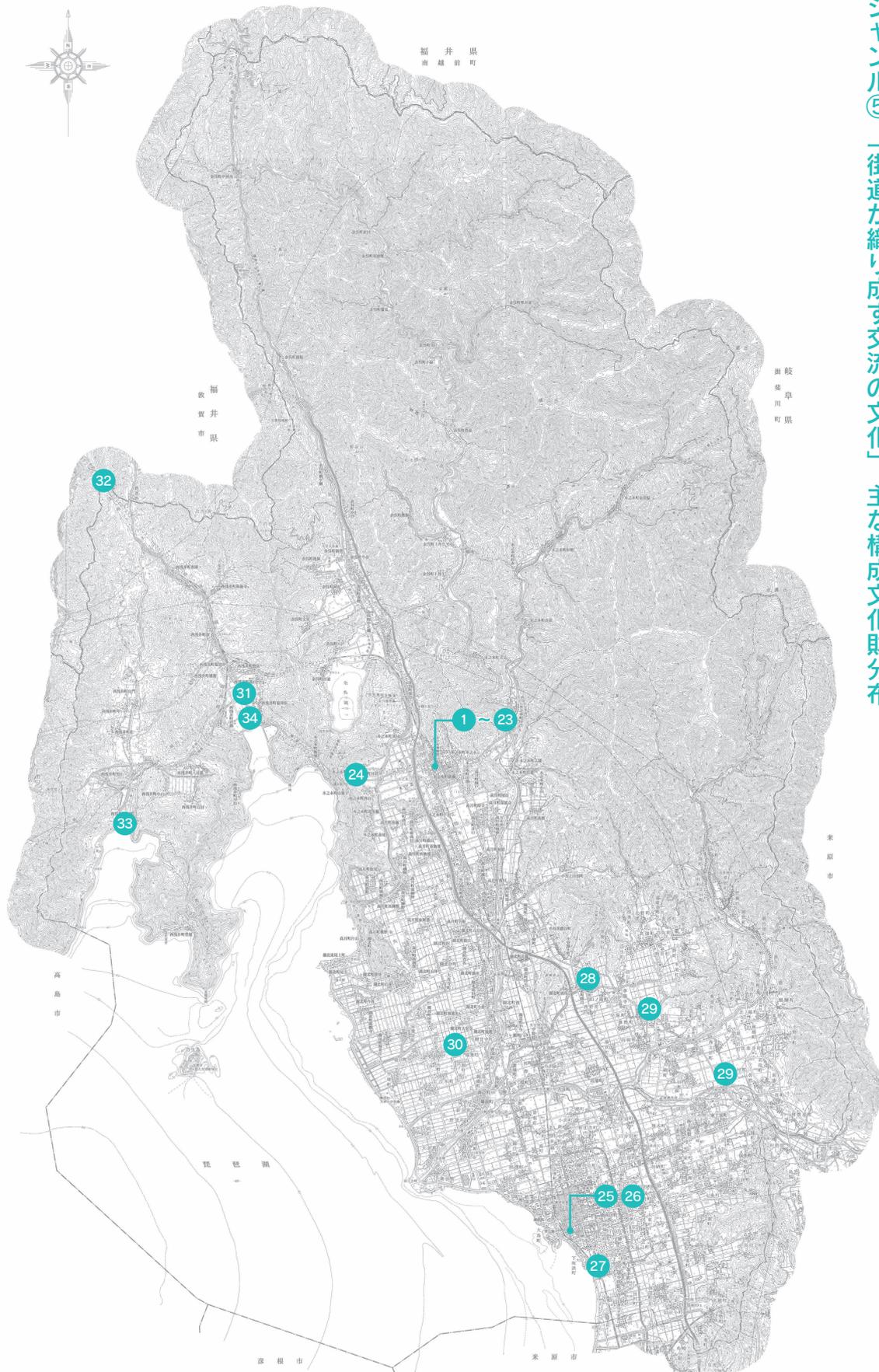
このように交通の要衝、情報の交流点にあった長浜は、街道や鉄道敷設、湖上交通などの利便性により、多くの人びとが行き交う町として栄え、さまざまな地域の文化がもたらされることによって、個性的かつ多彩な地域文化を育んだ。



北国街道木之本宿 本陣薬局

■ジャンル⑤ 街道が織り成す交流の文化 主な構成文化財一覧

番号	文化財名	類型	指定	地域	所在地
1	北国街道木之本宿	伝統的建造物群	未指定	木之本	木之本町木之本
2	富田酒造主屋	建造物	国登録	木之本	木之本町木之本
3	竹内家住宅(本陣)	建造物	未指定	木之本	木之本町木之本
4	ダイコウ醤油主屋	建造物	国登録	木之本	木之本町木之本
5	白木屋醤油店主屋	建造物	国登録	木之本	木之本町木之本
6	岩根醤油醸造店	建造物	未指定	木之本	木之本町木之本
7	岩根重内家住宅	建造物	未指定	木之本	木之本町木之本
8	海津家住宅	建造物	未指定	木之本	木之本町木之本
9	山路酒造	建造物	未指定	木之本	木之本町木之本
10	竹本家住宅	建造物	未指定	木之本	木之本町木之本
11	上阪家住宅	建造物	未指定	木之本	木之本町木之本
12	馬宿平四郎家住宅	建造物	未指定	木之本	木之本町木之本
13	浄信寺本堂	建造物	未指定	木之本	木之本町木之本
14	浄信寺阿弥陀堂	建造物	未指定	木之本	木之本町木之本
15	浄信寺庭園	名勝	国指定	木之本	木之本町木之本
16	浄信寺文書	古文書	市指定	木之本	木之本町木之本
17	明楽寺	建造物	未指定	木之本	木之本町木之本
18	一里塚跡の松	樹木	未指定	木之本	木之本町木之本
19	田神山観音寺	史跡	未指定	木之本	木之本町木之本
20	意富布良神社	建造物	未指定	木之本	木之本町木之本
21	江北図書館	建造物	未指定	木之本	木之本町木之本
22	きのもと交遊館	建造物	国登録	木之本	木之本町木之本
23	邦楽器系製造	選定保存技術	国選定	木之本	木之本町木之本
24	邦楽器原系製造	選定保存技術	国選定	伊香具	木之本町大音
25	北国街道船町の町並	伝統的建造物群	未指定	旧長浜	朝日町
26	本陣吉川家跡	史跡	未指定	旧長浜	朝日町
27	石造北国街道道標	有形民俗	市指定	六荘	大成亥町
28	伊部宿本陣	建造物	未指定	小谷	湖北町伊部
29	北国脇往還史跡	史跡	市指定	湯田	八島・野村町
30	石造道標	史跡	市指定	びわ	香花寺町
31	常夜灯	建造物	未指定	西浅井	西浅井町塩津浜
32	深坂古道・地藏	史跡	未指定	西浅井	西浅井町沓掛
33	丸子船(北淡海・丸子船の館)	有形民俗	未指定	西浅井	西浅井町大浦
34	丸子船(あぢかまの里)	有形民俗	未指定	西浅井	西浅井町塩津浜



ジャンル⑤ 「街道が織り成す交流の文化」 主な構成文化財分布

ジャンル⑥ 長浜の近代化を創った遺産群

明治の長浜は輝いていた。いち早い蒸気船の運航、学校・銀行の設立、そして鉄道の敷設と鉄道連絡線の就航。慶雲館は明治天皇を迎える迎賓館であった。これらの近代史を支えた歴史的建造物が今も残り、その活力を体感できるのも、長浜市の大きな魅力であろう。多岐にわたる近代化遺産群には、長浜の将来をさらに発展に導くヒントが詰まっている。

長浜の町は近代化の波をいち早く捉え、蒸気船の就航、第一小学校の開設、国立銀行の設立、鉄道の敷設など長浜商人たちの目覚ましい活躍により近代化を成し遂げ、周辺地域へその波を伝播させていった。当時の遺産は、旧長浜駅本屋や慶雲館、旧開知学校、黒壁ガラス館本館（旧第三百銀行長浜支店）、旧大垣共立銀行長浜支店など旧長浜町域を中心に、当時の機能から変化して使われているが、今なお生き続けており、外観からは往時の活況を窺い知ることができる。

また、産業遺産も魅力的なものが多い。繊維工場（旧鐘紡長浜工場・近江ベルベット）、樋口株式会社旧事務所、高時川発電所や土倉鉾山跡が挙げられる。電話中継所であるハットは特異な産業遺産である。江北図書館は、旧伊香郡農会庁舎である。郵便局舎も近代化遺産と言えるものが多く残る。旧柳ヶ瀬郵便局舎、旧塩津郵便局舎、旧鍛冶屋郵便局舎、旧朝日郵便局舎、旧杉野郵便局舎、旧川合郵便局舎を挙げる事ができる。集会所としては、東横町集会所（旧木之本保健所）、余呉べんがら座、旧布勢会議所、東阿閉公民館（ヤンマー会館）がある。

学校施設としては神田公民館講堂（旧神田尋常高等小学校講堂）、曾根東福寺組地藏堂（旧曾根学校玄関）、大塚産業食堂（開知学校北舎）、旧余呉小学校講堂が挙げられるが、戦前の日本において教育勅語などを安置した奉安殿（長浜市石田町、木之本町大音）も、時代を象徴する教育遺産として注目できる。

大正から昭和初めに建設されたトンネル群も、近代化遺産としては見逃せない。煉瓦造道路隧道である杉本隧道（木之本杉本～余呉町上丹生）・横山隧道（鳥羽上町～米原市）・賤ヶ岳隧道（木之本町大音～山梨子）や、鉄筋コンクリート造隧道である観音坂隧道（石田町～米原市）・湖北隧道（西浅井町月出～八田部）・谷坂隧道（小室～郷野）、北陸本線の土木施設として柳ヶ瀬トンネル（余呉町椿坂～福井県）と余呉トンネル（余呉町八戸～西浅井町祝山）などがある。鉄道の廃線路にある中ノ郷駅跡（余呉町中之郷）も旧状を一部保っている。これら、近代化遺産は現在の長浜へと継承された最も身近な文化財として、我々に訴えかけるものが大きい。

なお、長浜市街地に建つ昭和39年（1964）建造の長浜タワービルも、昭和の高度成長期を象徴する建造物として、文化財と見なしてよいだろう。



慶雲館庭園

■ジャンル⑥ 長浜の近代化を創った遺産群 主な構成連文化財一覧

番号	文化財名	類型	指定	地域	所在地
1	慶雲館庭園	名勝	国指定	旧長浜	港町
2	旧長浜駅本屋	建造物	県指定	旧長浜	北船町
3	長浜旧開知学校	建造物	国登録	旧長浜	元浜町
4	黒壁ガラス館	建造物	国登録	旧長浜	元浜町
5	ふじ石亭	建造物	国登録	旧長浜	朝日町
6	旧大垣共立銀行長浜支店	建造物	未指定	旧長浜	元浜町
7	きのもと交遊館	建造物	国登録	木之本	木之本町木之本
8	旧鐘紡長浜絹布工場	建造物	未指定	旧長浜	鐘紡町所在
9	近江ベルベット株式会社本社工場	建造物	未指定	北郷里	石田町所在
10	樋口株式会社旧事務所	建造物	未指定	南郷里	南小足町
11	高時川発電所	建造物	未指定	高時	木之本町川合
12	電話中継所ハット	建造物	未指定	余呉	余呉町中河内
13	土倉鉱山跡	史跡	未指定	杉野	木之本町金居原
14	江北図書館(旧伊香郡農会)	建造物	未指定	木之本	木之本町木之本
15	旧柳ヶ瀬郵便局舎	建造物	未指定	余呉	余呉町柳ヶ瀬
16	旧塩津郵便局舎	建造物	未指定	西浅井	西浅井町塩津浜
17	旧鍛冶屋郵便局舎	建造物	未指定	上草野	鍛冶屋町
18	旧杉野郵便局舎	建造物	未指定	杉野	木之本町杉野
19	旧川合郵便局舎	建造物	未指定	高時	木之本町川合
20	東横町集会所(旧木之本保健所)	建造物	未指定	木之本	木之本町木之本
21	余呉べんがら座(旧下余呉集会所)	建造物	未指定	余呉	余呉町下余呉
22	旧布勢町会議所	建造物	未指定	西黒田	布勢町
23	東阿閉公民館(ヤンマー会館)	建造物	未指定	古保利	高月町東阿閉
24	神田公民館講堂(旧神田尋常高等小学校講堂)	建造物	未指定	神田	加田町
25	曾根東福寺組地藏堂(旧曾根小学校玄関)	建造物	国登録	びわ	曾根町
26	大塚産業食堂(旧開知学校北舎)	建造物	未指定	六荘	八幡東町
27	旧余呉小学校講堂	建造物	未指定	余呉	余呉町下余呉
28	奉安殿	建造物	未指定	北郷里	石田町
29	奉安殿	建造物	未指定	伊香具	木之本町大音
30	杉本隧道(煉瓦造)	建造物	未指定	杉野	木之本町杉本
31	横山隧道(煉瓦造)	建造物	未指定	西黒田	鳥羽上町所在
32	賤ヶ岳隧道(煉瓦造)	建造物	未指定	伊香具	木之本町大音
33	観音坂隧道(RC造)	建造物	未指定	北郷里	石田町所在
34	湖北隧道(RC造)	建造物	未指定	西浅井	西浅井町月出
35	谷坂隧道(RC造)	建造物	未指定	上草野	郷野町所在
36	柳ヶ瀬トンネル	建造物	未指定	余呉	余呉町椿坂
37	旧北陸線トンネル扁額群	歴史資料	未指定	旧長浜	北船町
38	余呉トンネル	建造物	未指定	余呉	余呉町八戸所在
39	中ノ郷駅跡	史跡	未指定	余呉	余呉町中之郷
40	長浜タワービル	建造物	未指定	旧長浜	元浜町

ジャンル⑥ 「長浜の近代化を創った遺産群」 主な構成連文化財分布

